注３ **大学番号：私立183**

届出

［平成３０年度設置］

計画の区分： 学部の学科の設置

注１

桜花学園大学　保育学部　国際教養こども学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人　桜花学園

令和２年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名　教務課長（キョウムカチョウ）　中川（ナカガワ）　千加子（チカコ）

電話番号　0562-97-5503

（夜間）　0562-97-5503

ＦＡＸ　0562-98-1162

ｅ－mail　j-kyomu@ohkagakuen-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例）　〇〇大学　△△学部　□□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和２年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保育学部

＜国際教養こども学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２９
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人　桜花学園

（２）大　学　名

桜花学園大学

（３）調査対象大学等の位置

〒４７０－１１９３
愛知県豊明市栄町武侍４８

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	オオタニ　メグム 大谷　恩 平成１７年１０月		
学　　長	オオタニ　タカネ 大谷　岳 平成２９年４月		
学 部 長	アサノ　タクジ 淺野　卓司 平成２８年４月		
学科長等	タカハシ　イチロウ 髙橋　一郎 平成３０年４月	キムラ　タツシ 木村　達史 令和２年４月	設置時学科長の一身上の都合による 令和２年４月１日（２）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和元年度に報告済の内容　→（元）
令和２年度に報告する内容　→（２）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２８年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保育学部 国際教養こども学科 学士（保育学）	教育学・保育学関係	４年	４５人	３年次 ３人	１８６人	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度						平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	45人 （ － ） [－]	－人	45人 （ － ） [－]	－人	45人 （ － ） [－]	人	人 （　） [　]	人	人 （　） [　]	人	1.10倍	－	
志願者数	341 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	355 （ － ） [－]	（ － ） [－]	259 （ － ） [－]	（ － ） [－]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]			
受験者数	322 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	329 （ － ） [－]	（ － ） [－]	228 （ － ） [－]	（ － ） [－]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]			
合格者数	186 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	251 （ － ） [－]	（ － ） [－]	159 （ － ） [－]	（ － ） [－]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]			
Ｂ　入学者数	52 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	49 （ － ） [－]	（ － ） [－]	48 （ － ） [－]	（ － ） [－]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	1.15		1.08		1.06								

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度						備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	52 [－] (－)	－ [－] (－)	49 [－] (－)	－ [－] (－)	48 [－] (－)	－ [－] (－)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　]	[　　]	
２年次			52 [－] (－)	－ [－] (－)	47 [－] (－)	－ [－] (－)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
３年次					50 [－] (－)	－ [－] (－)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
４年次							[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
計	52 [　—　] (　—　)		101 [　—　] (　—　)		145 [　—　] (　—　)		[　　] (　　)		[　　] (　　)		

・令和２年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成30年度	52 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	101 人	4 人	平成30年度	2 人	0 人	学生個人の心身に関する事情（1人）、他の教育機関への入学（1人）
			令和元年度	2 人	0 人	学生個人の心身に関する事情（1人）、就学意欲の低下（1人）
令和2年度	145 人	0 人	平成30年度	0 人	人	
			令和元年度	0 人	人	
			令和2年度	0 人	人	
令和元年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合　計		4 人		人	人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 0 / 52 = 0 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 4 / 101 = 3.96 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 0 / 145 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜保育学部　国際教養こども学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	現代社会と女性	1前		2							1
	女性とジェンダー	1前		2							1
	芸術の世界	1前		2			2				1
	文学の世界	1前		2							1
	心の探求	1前		2		1					
	生き方の探求	1前		2							1
	生活と経済	1後		2							1
	地域社会	1後		2							1
	人間と歴史	1後		2							1
	異文化理解	1後		2					1		
	日本の文化	1後		2							1
	国際関係論	1後		2		1					
	世界の宗教	1後		2							1
	環境の科学	2前		2							1
	食と生命の科学	2前		2		1					2
	スポーツ健康論	1後		2		2					
	スポーツⅠ	2後		1		1					1
	スポーツⅡ	2後		1							2
	統計学	4前		2							1
	社会調査法	4前		2							1
	情報社会論	4後		2							1
	コンピュータⅠ	1前	1								1
	コンピュータⅡ	1後	1								1
	NGO・NPO論	4前		2							1
	現代社会と企業	4前		2							1
	地域協力演習	4前		2							1
	インターンシップ（国内）	2後～4後		2							1
	インターンシップ（海外）	2後～4後		2							1
	ボランティア（海外）	2後～4後		2							1
	総合英語Ⅰ	1前	1				2		1		1
	総合英語Ⅱ	1後	1				2		1		1
	総合英語Ⅲ	2前	1								3
	総合英語Ⅳ	2後	1								3
	英語コミュニケーションⅠ	4前		1							1
	英語コミュニケーションⅡ	4後		1							1
	英語コミュニケーションⅢ	4前		1							1
	英語コミュニケーションⅣ	4後		1							1
	ポルトガル語と文化Ⅰ	1前		1							1
	ポルトガル語と文化Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語と文化Ⅰ	1前		1							1
	スペイン語と文化Ⅱ	1後		1							1
	フランス語と文化Ⅰ	1前		1							1
	フランス語と文化Ⅱ	1後		1							1
	中国語と文化Ⅰ	1前		1							1
	中国語と文化Ⅱ	1後		1							1
	中国語と文化Ⅲ	2前		1							1
	中国語と文化Ⅳ	2後		1							1
	韓国語と文化Ⅰ	1前		1							1
	韓国語と文化Ⅱ	1後		1							1
	韓国語と文化Ⅲ	2前		1							1
	韓国語と文化Ⅳ	2後		1							1
	日本国憲法	2後		2							1
	海外研修A	2前～4後		2							3
	海外研修B	2前～4後		4							3

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	現代社会と女性	1前		2							1
	女性とジェンダー	1前		2							1
	生涯学習	**1前**		**2**							**1**
	芸術の世界	1前		2		1	1				1
	文学の世界	1前		2							1
	心の探求	1前		2		1					
	生き方の探求	1前		2							1
	生活と経済	1後		2							1
	地域社会	1後		2							1
	人間と歴史	1後		2							1
	異文化理解	1後		2			**1**				
	日本の文化	1後		2							1
	国際関係論	1後		2		1					
	世界の宗教	1後		2							1
	環境の科学	2前		2							1
	食と生命の科学	**2前**		**2**		**1**					**1**
	生き物の社会	**2前**		**2**							**1**
	スポーツ健康論	1後		2		2					
	スポーツⅠ	**2後**		**1**		**1**					**2**
	スポーツⅡ	2後		1							2
	統計学	4前		2							1
	社会調査法	4前		2							1
	情報社会論	4後		2							1
	コンピュータⅠ	1前	1								1
	コンピュータⅡ	1後	1								1
	NGO・NPO論	4前		2							1
	現代社会と企業	4前		2							1
	地域協力演習	4前		2							1
	インターンシップ（国内）A	**2後～4後**		**1**							**1**
	インターンシップ（国内）B	**2後～4後**		**2**							**1**
	インターンシップ（海外）A	**2後～4後**		**1**							**1**
	インターンシップ（海外）B	**2後～4後**		**2**							**1**
	インターンシップ（海外）C	**2後～4後**		**3**							**1**
	インターンシップ（海外）D	**2後～4後**		**4**							**1**
	ボランティア（海外）	2後～4後		2			**1**				1
	総合英語Ⅰ	**1前**	**1**				**2**				**2**
	総合英語Ⅱ	1後	1				**2**				**2**
	総合英語Ⅲ	**2前**	**1**				**1**				**2**
	総合英語Ⅳ	**2後**	**1**				**1**				**2**
	英語コミュニケーションⅠ	4前		1							1
	英語コミュニケーションⅡ	4後		1							1
	英語コミュニケーションⅢ	**4前**		**1**			**1**				
	英語コミュニケーションⅣ	**4後**		**1**			**1**				
	ポルトガル語と文化Ⅰ	1前		1							1
	ポルトガル語と文化Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語と文化Ⅰ	1前		1							1
	スペイン語と文化Ⅱ	1後		1							1
	フランス語と文化Ⅰ	1前		1							1
	フランス語と文化Ⅱ	1後		1							1
	中国語と文化Ⅰ	1前		1							1
	中国語と文化Ⅱ	1後		1							1
	中国語と文化Ⅲ	**2前**		**1**							**1**
	中国語と文化Ⅳ	**2後**		**1**							**1**
	韓国語と文化Ⅰ	1前		1							1
	韓国語と文化Ⅱ	1後		1							1
	韓国語と文化Ⅲ	2前		1							1
	韓国語と文化Ⅳ	2後		1							1
	日本国憲法	2後		2							1
	海外研修A	2前～4後		2							3
	海外研修B	2前～4後		4							3

	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	基礎演習Ⅰ	1前	1			1	2				
	基礎演習Ⅱ	1後	1			1	2				
	エクステンション科目	1前～4後		6							
	小計(57科目)	－	8	84	0	8	10	0	3	0	60
専門教育科目	発達心理学Ⅰ	1後	2			1					
	発達心理学Ⅱ	2後		2		1					
	幼児理解とカウンセリング	2後	2								1
	教育制度	4前	2								1
	家庭支援論	4後	2								1
	社会福祉	1後	2								1
	児童家庭福祉	2後	2			1					
	教育原理	1後	2								1
	保育原理	1前	2			1					
	社会的養護	2前		2							1
	教育心理学	4前		2		1					
	保育者論	1前		2		1					
	保育課程論	4後		2							1
	教育の方法	2後	2								1
	保育内容総論	1前	2								1
	保育内容指導法「生活と健康」	1後		2		1					
	保育内容指導法「生活と協同」	2後		2		1					
	保育内容指導法「生活と言葉」	1後		2							1
	保育内容指導法「生活と認識」	4前		2		1					
	保育内容指導法「生活と表現Ⅰ」	2後		2							1
	保育内容指導法「生活と表現Ⅱ」	4後		2			1				
	障害児保育	2後		2							1
	乳児保育	2前		2		1					
	社会的養護内容	2前		2							1
	国語	1後		2							1
	算数	2前		2							1
	生活	2後		2							1
	音楽ⅠA	1前		1			1				2
	音楽ⅠB	1後		1			1				2
	音楽ⅡA	2前		1			1				2
	音楽ⅡB	2後		1			1				2
	児童文化	1前		2							1
	海外の保育	2前		2			1				
	図画工作A	1後		1			1				
	図画工作B	1前		1							1
	体育A	4前		1		2					
	体育B	4後		1		2					
	子どもの保健ⅠA	1前		2		1					
	子どもの保健ⅠB	1後		2							1
	子どもの保健Ⅱ	2前		2							1
	子どもの食と栄養	2前		2							2
	相談援助	4後		2							1
	保育相談支援	4前		2							1
	教育相談	4後		2							1
	多文化共生研究	1前	2			1					
	地域研究Ⅰ	2前	2			1					
	地域研究Ⅱ	1前		2							1
	地域研究Ⅲ	2前		2							1
	地域研究Ⅳ	2前		2							1
	地域研究Ⅴ	2後		2							1
	地域研究Ⅵ	2後		2							1
	ことばのメカニズム	4前	2				1				
	Teaching English for Children	2前	2						1		
	チームビルディング実践	1前	2			1					
	Study Abroad Preparation	2後	1			1	2		1		
	Basic Communication in English Ⅰ	1前	1								2
	Basic Communication in English Ⅱ	1後	1								2
	Intermediate Communication in English Ⅰ	2前	1								2
	Intermediate Communication in English Ⅱ	2後	1								2
	海外語学研修	3前・後	5			1	2		1		
	海外保育留学	3前・後	10			1	2		1		
	国際教養総論	4前	2			1					
	教育実習入門	1後	1			1	1				
	教育実習Ⅰ	2後		2		1	1				
	教育実習Ⅱ	4後		2		1	1				

	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	基礎演習Ⅰ	1前	1			2	1				
	基礎演習Ⅱ	1後	1			2	1				
	エクステンション科目	1前～4後		6							
	小計(63科目)	－	8	97	0	11	13	0	0	0	64
専門教育科目	保育原理	1前	2			1					
	教育原理	1後	2								1
	子ども家庭福祉	1後	2			1					
	社会福祉	1前	2								1
	子ども家庭支援論	2後	2								1
	社会的養護Ⅰ	2前		2							1
	社会的養護Ⅱ	2後		1							1
	保育者論	1後	2			1					
	教育制度	4前	2								1
	発達心理学	1前	2			1					
	子ども家庭支援の心理	2後	2								1
	子ども理解の理論と方法	2前	2								1
	教育心理学	4後	2			1					
	特別支援基礎論	2前		1							1
	保育カリキュラム論	4後	2								1
	保育内容総論	1前	2								1
	保育内容指導法(健康)	2後	2			1					
	保育内容指導法(人間関	2後	2			1					
	保育内容指導法(環境)	1後	2			1					
	保育内容指導法(言葉)	1後	2								1
	保育内容指導法(表現)	2後	2				1				1
	教育の方法	2前	2								2
	幼児と健康	2前		1		2					
	幼児と人間関係	2前		1		1					
	幼児と環境	1前		1		1					
	幼児と言葉	1前		1							1
	幼児と表現	2前		1		1	1				
	幼児音楽A	1前		1		1					2
	幼児音楽B	1後		1		1					2
	幼児造形A	1前		1			1				
	幼児造形B	1後		1			1				
	幼児体育A	1前		1		2					
	幼児体育B	1後		1		2					
	児童文化	4前		2							1
	子どもの保健	2前		2		1					
	子どもの健康と安全	2後		1		1					
	子どもの食と栄養	2前		2							2
	障害児保育	2後		2							2
	乳児保育Ⅰ	2後		2		1					
	乳児保育Ⅱ	4前		1		1					
	教育相談	4後		1							1
	子育て支援	4前	1								1
	海外の保育	2前		2			1				
	多文化共生研究	1前	2			1					
	地域研究Ⅰ	2前	2			1					
	地域研究Ⅱ	1前		2							1
	地域研究Ⅲ	2前		2							1
	地域研究Ⅳ	2前		2							1
	地域研究Ⅴ	2後		2							1
	地域研究Ⅵ	2後		2							1
	ことばのメカニズム	4前	2				1				
	Teaching English for Children	2前		2			1				
	チームビルディング実践	1前		2		1					
	Study Abroad Preparation	2後	1			1	3				
	Basic Communication in English Ⅰ	1前	1								3
	Basic Communication in English Ⅱ	1後	1								3
	Intermediate Communication in English Ⅰ	2前	1								3
	Intermediate Communication in English Ⅱ	2後	1								3
	海外語学研修	3前・後	5			1	3				
	海外保育留学	3前・後	10			1	3				
	国際教養総論	4前	2			1					
	教育実習入門	1後	1			2	1				
	教育実習Ⅰ	2後		2		1	1				
	教育実習Ⅱ	4後		2		1	1				
	教育実習指導Ⅰ	2前		1		1	1				

授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教育実習指導Ⅰ	2前		1		1	1				
教育実習指導Ⅱ	4前		1		1	1				
教職実践演習	4後		2		1	1				
保育実践演習	4前		2		2	1				
保育実習Ⅰ（保育所）	3後		2		1					
保育実習Ⅰ（施設）	3後		2		1					
保育実習Ⅱ	4前		2		1					
保育実習Ⅲ	4前		2		1					
保育実習指導Ⅰ（保育所）	3後		1		1					
保育実習指導Ⅰ（施設）	3後		1		1					
保育実習指導Ⅱ	4前		1		1					
保育実習指導Ⅲ	4前		1		1					
海外保育フィールド・スタディ	1前	2			1	1				
海外幼児教育インターンシップ	1後		2			1		1		
総合演習A	2前	1			1	1		1		
総合演習B	2後	1			1	1		1		
卒業研究演習Ⅰ	4前	1			3	4		1		
卒業研究演習Ⅱ	4後	1			3	4		1		
卒業研究	集中	2			3	4		1		
小計（84科目）	－	61	94	0	50	37	0	10	0	46
合計（141科目）	－	69	178	0	58	47	0	13	0	106

卒業要件及び履修方法

共通教育課目の必修科目8単位を含み30単位以上，専門教育科目の必修科目61単位を含み94単位以上を修得し，合計124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：60単位（年間））

授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教育実習指導Ⅱ	4前		1		1	1				
教職実践演習（幼）	4後		2		1	1				
保育実践演習	4前		2		3					
保育実習Ⅰ（保育所）	3後		2		1					
保育実習Ⅰ（施設）	3後		2		1					
保育実習Ⅱ	4前		2		1					
保育実習Ⅲ	4前		2		1					
保育実習指導Ⅰ（保育所）	3後		1		1					
保育実習指導Ⅰ（施設）	3後		1		1					
保育実習指導Ⅱ	4前		1		1					
保育実習指導Ⅲ	4前		1		1					
海外保育フィールド・スタディ	1前	2			1	1				
海外幼児教育インターンシップ	1後		2			2				
総合演習A	2前	1			2	2				
総合演習B	2後	1			2	2				
卒業研究演習Ⅰ	4前	1			6	4				
卒業研究演習Ⅱ	4後	1			6	4				
卒業研究	集中	2			6	4				
小計（83科目）	－	76	68	0	71	41	0	0	0	44
合計（146科目）	－	84	165	0	82	54	0	0	0	108

卒業要件及び履修方法

共通教育課目の必修科目8単位を含み30単位以上，専門教育科目の必修科目61単位を含み94単位以上を修得し，合計124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：60単位（年間））

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育課目	現代社会と女性	1前		2							1
	女性とジェンダー	1前		2							1
	芸術の世界	1前		2			2				1
	文学の世界	1前		2							1
	心の探求	1前		2		1					
	生き方の探求	1前		2							1
	生活と経済	1後		2							1
	地域社会	1後		2							1
	人間と歴史	1後		2							1
	異文化理解	1後		2			1				
	日本の文化	1後		2							1
	国際関係論	1後		2		1					
	世界の宗教	1後		2							1
	環境の科学	2前		2							1
	食と生命の科学	2前		2		1					2
	スポーツ健康論	1後		2		2					
	スポーツⅠ	2後		1		1					1
	スポーツⅡ	2後		1							2
	統計学	4前		2							1
	社会調査法	4前		2							1
	情報社会論	4後		2							1
	コンピュータⅠ	1前	1								1
	コンピュータⅡ	1後	1								1
	NGO・NPO論	4前		2							1
	現代社会と企業	4前		2							1
	地域協力演習	4前		2							1
	インターンシップ（国内）	2後～4後		2							1
	インターンシップ（海外）A	**2後～4後**		**1**							**1**
	インターンシップ（海外）B	**2後～4後**		**2**							**1**
	インターンシップ（海外）C	**2後～4後**		**3**							**1**
	インターンシップ（海外）D	**2後～4後**		**4**							**1**
	ボランティア（海外）	2後～4後		2							1
	総合英語Ⅰ	1前	1				**3**				1
	総合英語Ⅱ	1後	1				**3**				1
	総合英語Ⅲ	2前	1								3
	総合英語Ⅳ	2後	1								3
	英語コミュニケーションⅠ	4前		1							1
	英語コミュニケーションⅡ	4後		1							1
	英語コミュニケーションⅢ	4前		1							1
	英語コミュニケーションⅣ	4後		1							1
	ポルトガル語と文化Ⅰ	1前		1							1
	ポルトガル語と文化Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語と文化Ⅰ	1前		1							1
	スペイン語と文化Ⅱ	1後		1							1
	フランス語と文化Ⅰ	1前		1							1
	フランス語と文化Ⅱ	1後		1							1
	中国語と文化Ⅰ	1前		1							1
	中国語と文化Ⅱ	1後		1							1
	中国語と文化Ⅲ	2前		1							1
	中国語と文化Ⅳ	2後		1							1
	韓国語と文化Ⅰ	1前		1							1
	韓国語と文化Ⅱ	1後		1							1
	韓国語と文化Ⅲ	2前		1							1
	韓国語と文化Ⅳ	2後		1							1
	日本国憲法	2後		2							1
	海外研修A	2前～4後		2							3
	海外研修B	2前～4後		4							3
	基礎演習Ⅰ	1前	1			1	2				
	基礎演習Ⅱ	1後	1			1	2				
	エクステンション科目	1前～4後		6							
	小計（60科目）	－	8	92	0	8	13	0	0	0	63
	発達心理学Ⅰ	1後	2			1					
	発達心理学Ⅱ	2後		2		1					
	幼児理解とカウンセリング	2後	2								1
	教育制度	4前	2								1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育課目	現代社会と女性	1前		2							1
	女性とジェンダー	1前		2							1
	生涯学習	**1前**		**2**			**2**				**1**
	芸術の世界	1前		2		**1**	**1**				1
	文学の世界	1前		2							1
	心の探求	1前		2		1					
	生き方の探求	1前		2							1
	生活と経済	1後		2							1
	地域社会	1後		2							1
	人間と歴史	1後		2							1
	異文化理解	1後		2			**1**				
	日本の文化	1後		2							1
	国際関係論	1後		2		1					
	世界の宗教	1後		2							1
	環境の科学	2前		2							1
	食と生命の科学	2前		2		1					2
	生き物の社会	**2前**		**2**							**1**
	スポーツ健康論	1後		2		2					
	スポーツⅠ	2後		1		1					1
	スポーツⅡ	2後		1							2
	統計学	4前		2							1
	社会調査法	4前		2							1
	情報社会論	4後		2							1
	コンピュータⅠ	1前	1								1
	コンピュータⅡ	1後	1								1
	NGO・NPO論	4前		2							1
	現代社会と企業	4前		2							1
	地域協力演習	4前		2							1
	インターンシップ（国内）A	**2後～4後**		**1**							**1**
	インターンシップ（国内）B	**2後～4後**		**2**							**1**
	インターンシップ（海外）A	**2後～4後**		**1**							**1**
	インターンシップ（海外）B	**2後～4後**		**2**							**1**
	インターンシップ（海外）C	**2後～4後**		**3**							**1**
	インターンシップ（海外）D	**2後～4後**		**4**							**1**
	ボランティア（海外）	2後～4後		2			**1**				1
	総合英語Ⅰ	1前	1				**3**				1
	総合英語Ⅱ	1後	1				**3**				1
	総合英語Ⅲ	2前	1								3
	総合英語Ⅳ	2後	1								3
	英語コミュニケーションⅠ	4前		1							1
	英語コミュニケーションⅡ	4後		1							1
	英語コミュニケーションⅢ	4前		1							1
	英語コミュニケーションⅣ	4後		1							1
	ポルトガル語と文化Ⅰ	1前		1							1
	ポルトガル語と文化Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語と文化Ⅰ	1前		1							1
	スペイン語と文化Ⅱ	1後		1							1
	フランス語と文化Ⅰ	1前		1							1
	フランス語と文化Ⅱ	1後		1							1
	中国語と文化Ⅰ	1前		1							1
	中国語と文化Ⅱ	1後		1							1
	中国語と文化Ⅲ	2前		1							**2**
	中国語と文化Ⅳ	2後		1							**2**
	韓国語と文化Ⅰ	1前		1							1
	韓国語と文化Ⅱ	1後		1							1
	韓国語と文化Ⅲ	2前		1							1
	韓国語と文化Ⅳ	2後		1							1
	日本国憲法	2後		2							1
	海外研修A	2前～4後		2							3
	海外研修B	2前～4後		4							3
	基礎演習Ⅰ	1前	1			**2**	**1**				
	基礎演習Ⅱ	1後	1			**2**	**1**				
	エクステンション科目	1前～4後		6							
	小計（63科目）	－	8	97	0	11	13	0	0	0	68
	保育原理	1前	2			1					
	教育原理	1後	2								1
	子ども家庭福祉	**1後**	**2**			**1**					
	社会福祉	**1前**	2								1

	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	家庭支援論	4後	2								1
	社会福祉	1後	2								1
	児童家庭福祉	2後	2			1					
	教育原理	1後	2								1
	保育原理	1前	2			1					
	社会的養護	2前		2							1
	教育心理学	4前	2			1					
	保育者論	1前	2			1					
	保育課程論	4後	2								1
	教育の方法	2後	2								1
	保育内容総論	1前	2								1
	保育内容指導法「生活と健康」	1後	2			1					
	保育内容指導法「生活と協同」	2後	2			1					
	保育内容指導法「生活と言葉」	1後	2								1
	保育内容指導法「生活と認識」	4前	2			1					
	保育内容指導法「生活と表現Ⅰ」	2後	2								1
	保育内容指導法「生活と表現Ⅱ」	4後	2				1				
	障害児保育	2後		2							1
	乳児保育	2前		2		1					
	社会的養護内容	2前		2							1
	国語	1後		2							1
	算数	2前		2							1
	生活	2後		2							1
	音楽ⅠA	1前		1			1				2
	音楽ⅠB	1後		1			1				2
	音楽ⅡA	2前		1			1				2
	音楽ⅡB	2後		1			1				2
	児童文化	1前		2							1
	海外の保育	2前		2			1				
	図画工作A	1後		1			1				
	図画工作B	1前		1							1
	体育A	4前		1		2					
	体育B	4後		1		2					
	子どもの保健ⅠA	1前		2		1					
	子どもの保健ⅠB	1後		2							1
	子どもの保健Ⅱ	2前		2							1
	子どもの食と栄養	2前		2							2
	相談援助	4後		2							1
	保育相談支援	4前		2							1
	教育相談	4後	2								1
	多文化共生研究	1前	2			1					
	地域研究Ⅰ	2前	2			1					
	地域研究Ⅱ	1前		2							1
	地域研究Ⅲ	2前		2							1
	地域研究Ⅳ	2前		2							1
	地域研究Ⅴ	2後		2							1
	地域研究Ⅵ	2後		2							1
	ことばのメカニズム	4前	2				1				
	Teaching English for Children	2前		2			1				
	チームビルディング実践	1前		2		1					
	Study Abroad Preparation	2後	1			1	3				
	Basic Communication in English Ⅰ	1前	1								2
	Basic Communication in English Ⅱ	1後	1								2
	Intermediate Communication in English Ⅰ	2前	1								2
	Intermediate Communication in English Ⅱ	2後	1								2
	海外語学研修	3前・後	5			1	3				
	海外保育留学	3前・後	10			1	3				
	国際教養総論	4前	2			1					
	教育実習入門	1後	1			1	1				
	教育実習Ⅰ	2後		2		1	1				
	教育実習Ⅱ	4後		2		1	1				
	教育実習指導Ⅰ	2前		1		1	1				
	教育実習指導Ⅱ	4前		1		1	1				
	教職実践演習（幼）	4後		2		1	1				
	保育実践演習	4前		2		2	1				
	保育実習Ⅰ（保育所）	3後		2		1					
	保育実習Ⅰ（施設）	3後		2		1					
	保育実習Ⅱ	4前		2		1					
	保育実習Ⅲ	4前		2		1					

	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	子ども家庭支援論	2後	2								1
	社会的養護Ⅰ	2前		2							1
	社会的養護Ⅱ	2後		1							1
	保育者論	1後	2			1					
	教育制度	4前	2								1
	発達心理学	1前	2			1					
	子ども家庭支援の心理	2後	2								1
	子ども理解の理論と方法	2前	2								1
	教育心理学	4後	2			1					
	特別支援基礎論	2前		1							1
	保育カリキュラム論	4後	2								1
	保育内容総論	1前	2								1
	保育内容指導法（健康）	2後	2			1					
	保育内容指導法（人間	2後	2			1					
	保育内容指導法（環境）	1後	2			1					
	保育内容指導法（言葉）	1後	2								1
	保育内容指導法（表現）	2後	2				1				1
	教育の方法	2前	2								1
	幼児と健康	2前		1		2					
	幼児と人間関係	2前		1		1					
	幼児と環境	1前		1		1					
	幼児と言葉	1前		1							1
	幼児と表現	2前		1		1	1				
	幼児音楽A	1前		1		1					2
	幼児音楽B	1後		1		1					2
	幼児造形A	1前		1			1				
	幼児造形B	1後		1			1				
	幼児体育A	1前		1		2					
	幼児体育B	1後		1		2					
	児童文化	4前		2							1
	子どもの保健	2前		2		1					
	子どもの健康と安全	2後		1		1					
	子どもの食と栄養	2前		2							2
	障害児保育	2後		2							1
	乳児保育Ⅰ	2後		2		1					
	乳児保育Ⅱ	4前		1		1					
	教育相談	4後		1							1
	子育て支援	4前	1								1
	海外の保育	2前		2			1				
	多文化共生研究	1前	2			1					
	地域研究Ⅰ	2前	2			1					
	地域研究Ⅱ	1前		2							1
	地域研究Ⅲ	2前		2							1
	地域研究Ⅳ	2前		2							1
	地域研究Ⅴ	2後		2							1
	地域研究Ⅵ	2後		2							1
	ことばのメカニズム	4前	2				1				
	Teaching English for Children	2前		2			1				
	チームビルディング実践	1前		2		1					
	Study Abroad Preparation	2後	1			1	3				
	Basic Communication in English Ⅰ	1前	1								3
	Basic Communication in English Ⅱ	1後	1								3
	Intermediate Communication in English Ⅰ	2前	1								3
	Intermediate Communication in English Ⅱ	2後	1								3
	海外語学研修	3前・後	5			1	3				
	海外保育留学	3前・後	10			1	3				
	国際教養総論	4前	2			1					
	教育実習入門	1後	1			2	1				
	教育実習Ⅰ	2後		2		1	1				
	教育実習Ⅱ	4後		2		1	1				
	教育実習指導Ⅰ	2前		1		1	1				
	教育実習指導Ⅱ	4前		1		1	1				
	教職実践演習（幼）	4後		2		1	1				
	保育実践演習	4前		2		2	1				
	保育実習Ⅰ（保育所）	3後		2		1					
	保育実習Ⅰ（施設）	3後		2		1					
	保育実習Ⅱ	4前		2		1					
	保育実習Ⅲ	4前		2		1					
	保育実習指導Ⅰ（保育所）	3後		1		1					

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
保育実習指導Ⅰ（保育所）	3後		1		1					
保育実習指導Ⅰ（施設）	3後		1		1					
保育実習指導Ⅱ	4前		1		1					
保育実習指導Ⅲ	4前		1		1					
海外保育フィールド・スタディ	1前	2			1	1				
海外幼児教育インターンシップ	1後		2			**2**				
総合演習A	2前	1			1	**2**				
総合演習B	2後	1			1	**2**				
卒業研究演習Ⅰ	4前	1			3	**5**				
卒業研究演習Ⅱ	4後	1			3	**5**				
卒業研究	集中	2			3	**5**				
小計（84科目）	－	77	78	0	50	47	0	0	0	46
合計（144科目）	－	85	170	0	58	60	0	0	0	109

卒業要件及び履修方法

共通教育課目の必修科目8単位を含み30単位以上，専門教育科目の必修科目61単位を含み94単位以上を修得し，合計124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：60単位（年間））

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
保育実習指導Ⅰ（施設）	3後		1		1					
保育実習指導Ⅱ	4前		1		1					
保育実習指導Ⅲ	4前		1		1					
海外保育フィールド・スタディ	1前	2			1	1				
海外幼児教育インターンシップ	1後		2			**2**				
総合演習A	2前	1			1	**2**				
総合演習B	2後	1			1	**2**				
卒業研究演習Ⅰ	4前	1			**4**	**4**				
卒業研究演習Ⅱ	4後	1			**4**	**4**				
卒業研究	集中	2			**4**	**4**				
小計（83科目）	－	76	68	0	62	42	0	0	0	42
合計（146科目）	－	84	165	0	73	55	0	0	0	110

卒業要件及び履修方法

共通教育課目の必修科目8単位を含み30単位以上，専門教育科目の必修科目61単位を含み94単位以上を修得し，合計124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：60単位（年間））

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成３０年度】

・「インターンシップ（海外）」は大学の共通教育科目であり、さらなる充実をはかるため「インターンシップ（海外）Ａ」、「インターンシップ（海外）Ｂ」、「インターンシップ（海外）Ｃ」、「インターンシップ（海外）Ｄ」に変更し、単位を２から「インターンシップ（海外）Ａ」１単位、「インターンシップ（海外）Ｂ」２単位、「インターンシップ（海外）Ｃ」３単位、「インターンシップ（海外）Ｄ」４単位へ変更し、各科目担当教員を兼担１へ変更。
・担当教員の昇格により、「異文化理解」の専任教員等の配置を「助教１」から「准教授１」に変更。「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授２」「助教１」から「准教授３」に変更。「Teaching English for Children」の専任教員の配置を「助教１」から「准教授１」へ変更、「Study Abroad Preparation」「海外語学研修」「海外保育留学」の専任教員の配置を「准教授２」「助教１」から「准教授３」に変更。「海外幼児教育インターンシップ」の専任教員の配置を「准教授１」「助教１」から「准教授２」へ変更。「総合演習Ａ」「総合演習Ｂ」の専任教員の配置を「「教授１」「准教授１」「助教１」から「教授１」「准教授２」へ変更。「卒業研究演習Ⅰ」「卒業研究演習Ⅱ」「卒業研究」の専任教員の配置を「教授３」「准教授４」「助教１」から「教授３」「准教授５」へ変更。
・課程認定における文部科学省の指摘により、「教育心理学」「保育者論」「保育課程論」「保育内容指導法「生活と健康」」「保育内容指導法「生活と協同」」「保育内容指導法「生活と言葉」」「保育内容指導法「生活と認識」」「保育内容指導法「生活と表現Ⅰ」」「保育内容指導法「生活と表現Ⅱ」」「教育相談」を選択から必修へ変更、「Teaching English for Children」「チームビルディング実践」を必修から選択へ変更。
・課程認定における文部科学省の指摘により「教職実践演習」の科目名を「教職実践演習（幼）」へ変更

【令和元年度】

・「生涯学習」は大学の共通教育科目であり、さらなる充実をはかるため担当教員を兼任を新規設定。
・「生き物の社会」は大学の共通教育科目であり、さらなる充実をはかるため担当教員を兼任を新規設定。
・担当教員の昇格により、「芸術の世界」、の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授１」に変更。
・「インターンシップ（海外）」は大学の共通教育科目であり、さらなる充実をはかるため「インターンシップ（国内）Ａ」、「インターンシップ（国内）Ｂ」に変更し、単位を２から「インターンシップ（国内）Ａ」１単位、「インターンシップ（国内）Ｂ」２単位へ変更し、各科目担当教員を兼担１へ変更。
・担当教員の昇格により、「基礎演習Ⅰ」、「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授2」に変更。
・保育士養成課程の見直しにより、「子ども家庭福祉」を1年　後期　2単位　必修　教授1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「子ども家庭支援論」を2年　後期　2単位　必修　兼担1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「社会的養護Ⅰ」を2年　前期　2単位　選択　兼担1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「社会的養護Ⅱ」を2年　後期　1単位　選択　兼担1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「保育者論」を1年前期から1年後期へ変更
・保育士養成課程の見直しにより、「発達心理学」を1年　前期　2単位　必修　教授1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「子ども家庭支援の心理学」を2年　後期　2単位　必修　兼担1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「子ども理解の理論と方法」を2年　前期　2単位　必修　兼担1を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により「教育心理学」を4年前期から4年後期へ変更、選択から必修へ変更。
・文部科学省による再課程認定の通告により「特別支援基礎論」を2年　前期　選択　1単位　兼担1を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により「保育カリキュラム論」を4年　後期　必修　2単位　兼担1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「　保育内容指導法（健康）」を2年　後期　2単位　必修　教授1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「　保育内容指導法（人間関係）」を2年　後期　2単位　必修　教授1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「　保育内容指導法（環境）」を1年　後期　2単位　必修　教授1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「　保育内容指導法（言葉）」を1年　後期　2単位　必修　兼任1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「　保育内容指導法（表現）」を2年　後期　2単位　必修　准教授1、兼任1を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「教育の方法」を2年後期から2年前期へ変更。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「幼児と健康」を2年　前期　1単位　選択　教授2を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「幼児と人間関係」を2年　前期　1単位　選択　教授1を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「幼児と環境」を1年　前期　1単位　選択　教授1を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「幼児と言葉」を1年　前期　1単位　選択　兼任1を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「幼児と表現」を2年　前期　1単位　選択　教授1、准教授1を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「幼児音楽Ａ」を1年　前期　1単位　選択　教授1、兼任2を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「幼児音楽Ｂ」を1年　後期　1単位　選択　兼任1を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「幼児造形Ａ」を1年　前期　1単位　選択　准教授を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「幼児造形Ｂ」を1年　後期　1単位　選択　准教授を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「幼児体育Ａ」を1年　前期　1単位　選択　教授2を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「幼児体育Ｂ」を1年　後期　1単位　選択　教授2を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「児童文化」を1年前期から4年前期へ変更。
・保育士養成課程の見直しにより、「子どもの保健」を2年　前期　2単位　選択　教授1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「子どもの健康と安全」を2年　後期　1単位　選択　教授1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「乳児保育Ⅰ」を2年　後期　2単位　選択　教授1を新設。
・保育士養成課程の見直しにより、「乳児保育Ⅱ」を4年　前期　1単位　選択　教授1を新設。
・文部科学省による再課程認定の通告により、「教育相談」を選択2単位から選択1単位へ変更。
・保育士養成課程の見直しにより、「子育て支援」を4年　前期　1単位　必修　兼担1を新設。
・「卒業研究演習Ⅰ」「卒業研究演習Ⅱ」「卒業研究」の専任教員の配置を「教授3」「准教授5」から「教授4」「准教授4」へ変更。

【令和２年度】

・業務加重の均一のため「生涯学習」の授業担当者を「准教授2」「兼任・兼担1」から「兼任・兼担1」へ変更。
・兼担講師定年退職により「食と生命の科学」の授業担当者を「教授1」「兼任・兼担2」から「教授1」「兼任・兼担1」へ変更。
・授業運営のさらなる安全管理のため「スポーツⅠ」の授業担当者を「教授1」「兼任・兼担1」から「教授1」「兼任・兼担2」へ変更。
・語学科目の授業内容のさらなる充実を図るため「総合英語Ⅰ」の授業担当者を「准教授3」「兼任・兼担1」から「教授2」「兼任・兼担2」へ変更。
・語学科目の授業内容のさらなる充実を図るため「総合英語Ⅱ」の授業担当者を「准教授3」「兼任・兼担1」から「教授2」「兼任・兼担2」へ変更。
・語学科目の授業内容のさらなる充実を図るため「総合英語Ⅲ」の授業担当者を「兼任・兼担3」から「准教授1」「兼任・兼担2」へ変更。
・語学科目の授業内容のさらなる充実を図るため「総合英語Ⅳ」の授業担当者を「兼任・兼担3」から「准教授1」「兼任・兼担2」へ変更。
・語学科目の体系的学修内容のさらなる充実を図るため「英語コミュニケーションⅢ」の授業担当者を「兼任・兼担3」から「准教授1」へ変更。
・語学科目の体系的学修内容のさらなる充実を図るため「英語コミュニケーションⅣ」の授業担当者を「兼任・兼担3」から「准教授1」へ変更。
・兼担講師の定年退職により「中国語と文化Ⅲ」の授業担当者を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」へ変更。
・兼担講師の定年退職により「中国語と文化Ⅳ」の授業担当者を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」へ変更。
・教職課程科目のさらなる充実を図るため「教育の方法」の授業担当者を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
・教職課程科目のさらなる充実を図るため「障害児保育」の授業担当者を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
・教職課程科目のさらなる充実を図るため「保育実践演習」の授業担当者を「教授2」「准教授1」から「教授3」へ変更。
・４年間の学修の集大成である卒業研究指導のさらなる充実を図るため「卒業研究演習Ⅰ」の授業担当者を「教授4」「准教授4」から「教授6」「准教授4」へ変更。
・４年間の学修の集大成である卒業研究指導のさらなる充実を図るため「卒業研究演習Ⅱ」の授業担当者を「教授4」「准教授4」から「教授6」「准教授4」へ変更。
・４年間の学修の集大成である卒業研究指導のさらなる充実を図るため「卒業研究」の授業担当者を「教授4」「准教授4」から「教授6」「准教授4」へ変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
38 科目	103 科目	0 科目	141 科目	46 科目 [8]	100 科目 [△3]	0 科目 [ ]	146 科目 [5]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目　　該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目　　該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

該当なし

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{141} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	㎡	45,004.99㎡	㎡	45,004.99㎡	名古屋短期大学（必要面積8,500㎡）と共用
	運動場用地	㎡	16,423.63㎡	㎡	16,423.63㎡	
	小計	㎡	61,428.62㎡	㎡	61,428.62㎡	
	その他	㎡	12,746.47㎡	㎡	12,746.47㎡	
	合計	㎡	74,175.09㎡	㎡	74,175.09㎡	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		5,038.42㎡	12,124.74㎡	3,406.96㎡	20,570.12㎡	名古屋短期大学と共用
		（5,038.42㎡）	（12,124.74㎡）	（3,406.96㎡）	（20,570.12㎡）	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	33室	52室	5室	7室 （補助職員　2人）	1室 （補助職員　0人）	大学全体 名古屋短期大学と共用

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	保育学部　国際教養こども学科	11室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
								学部単位での特定不能なため、大学全体の数 名古屋短期大学と共用
	保育学部国際教養こども学科	~~232,785〔2,5766〕~~ 233,422〔2,7296〕 ~~(52,249〔8,993〕)~~ ~~(231,646〔27,120〕)~~ (233,581〔27,543〕)	~~331〔57〕~~ 339〔49〕 ~~(91〔46〕)~~ ~~(335〔48〕)~~ (318〔46〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	~~6,339~~ 8,932 ~~(6,339)~~ ~~(8,884)~~ (8,794)	0 (0)	0 (0)	変更の理由 ：学年進行及び他の学部学科による冊数の増減（２）
	計	~~232,785〔2,5766〕~~ 233,422〔2,7296〕 ~~(52,249〔8,993〕)~~ ~~(231,646〔27,120〕)~~ (233,581〔27,543〕)	~~331〔57〕~~ 339〔49〕 ~~(91〔46〕)~~ ~~(335〔48〕)~~ (318〔46〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	~~6,339~~ 8,932 ~~(6,339)~~ ~~(8,884)~~ (8,794)	0 (0)	0 (0)	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
				大学全体
	2,194.52㎡	320	225,000	名古屋短期大学と共用

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	2,237.60㎡	テニスコート2面	ゴルフ練習場10打席	

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り	教員１人当り研究費等	420千円	420千円	図書購入費	50千円	500千円	500千円
	共同研究費等	3500千円	3500千円	設備購入費	500千円	1,500千円	500千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,457千円	1,217千円	1,217千円	1,217千円	－ 千円	－ 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入、等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和２年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	桜花学園大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
保育学部										－	
国際教養こども学科	4	45	３年次 3	186	学士 （保育学）	1.10	1.06	－	平成30	愛知県豊明市栄町武侍48	
保育学科	4	130	３年次 2	524	学士 （保育学）	1.06	0.97		平成14	同上	
学芸学部											
英語学科	4	50	３年次 5	210	学士 （英語学）	0.92	1.08		平成21	同上	
大学院人間文化研究科											
人間科学専攻	2	5	0	10	修士 （人間科学学専攻）	0.50	0.60		平成14	愛知県豊明市栄町武侍48	
地域文化専攻	2	5	0	10	修士 （地域文化専攻）	0.10	－		平成14	同上	
大学全体	－	235	10	940	－	－	－	－	－	－	

大学の名称	名古屋短期大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
保育科	2	240	－	480	短期大学士 （保育学）	1.00	1.04		昭和30	愛知県豊明市栄町武侍48	
英語コミュニケーション学科	2	80	－	160	短期大学士 （英語）	0.98	0.91		昭和51	同上	
現代教養学科	2	105	－	210	短期大学士 （現代教養）	0.65	0.56		昭和57	同上	
大学全体	－	425	－	850	－	－	－	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜保育学部　国際教養こども学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	布施　佐代子 (64) ＜平成30年4月＞	心の探求 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ 教育心理学 教育実習指導Ⅱ 教育実習Ⅱ 教職実践演習
専	教授	原田　明美 (65) ＜平成30年4月＞	保育者論 保育原理 乳児保育 児童家庭福祉 保育内容指導法「生活と協同」　保育実習指導Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習指導Ⅱ 保育内容指導法「生活と認識」　保育実習Ⅱ 保育実践演習
専	教授	髙橋　一郎 (58) ＜平成30年4月＞	多文化共生研究 海外保育フィールド・スタディ　国際関係論　地域研究Ⅰ 総合演習Ａ Study Abroad Preparation 総合演習Ｂ 海外語学研修 海外保育留学 国際教養総論 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	寺田　恭子 (54) ＜平成30年4月＞	教育実習入門 チームビルディング実践 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ スポーツ健康論 スポーツⅠ 体育Ａ 卒業研究演習Ⅰ 体育Ｂ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	布施　佐代子 (64) ＜平成30年4月＞	心の探求 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ 教育心理学 教育実習指導Ⅱ 教育実習Ⅱ 教職実践演習
専	教授	原田　明美 (65) ＜平成30年4月＞	保育者論 保育原理 乳児保育 児童家庭福祉 保育内容指導法「生活と協同」 保育実習指導Ⅰ（保育所）　保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習指導Ⅱ 保育内容指導法「生活と認識」 保育実習Ⅱ 保育実践演習
専	教授	髙橋　一郎 (58) ＜平成30年4月＞	多文化共生研究 海外保育フィールド・スタディ 国際関係論 地域研究Ⅰ 総合演習Ａ Study Abroad Preparation 総合演習Ｂ 海外語学研修 海外保育留学 国際教養総論 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	寺田　恭子 (54) ＜平成30年4月＞	教育実習入門 チームビルディング実践 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ スポーツ健康論 スポーツⅠ 体育Ａ 卒業研究演習Ⅰ 体育Ｂ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	布施　佐代子 (65) ＜平成30年4月＞	心の探求 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ 教育心理学 教育実習指導Ⅱ 教育実習Ⅱ **教職実践演習（幼）** **発達心理学**
専	教授	原田　明美 (66) ＜平成30年4月＞	保育者論 保育原理 保育実習指導Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実践演習 **乳児保育Ⅰ** **乳児保育Ⅱ** **子ども家庭福祉** **保育内容指導法（環境）** **保育内容指導法（人間関係）** **幼児と人間関係** **幼児と環境**
専	教授	髙橋　一郎 (59) ＜平成30年4月＞	多文化共生研究 海外保育フィールド・スタディ 国際関係論 地域研究Ⅰ 総合演習Ａ Study Abroad Preparation 総合演習Ｂ 海外語学研修 海外保育留学 国際教養総論 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	寺田　恭子 (55) ＜平成30年4月＞	教育実習入門 チームビルディング実践 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ スポーツ健康論 スポーツⅠ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究 **幼児体育Ａ** **幼児体育Ｂ** **幼児と健康**

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	布施　佐代子 (66) ＜平成30年4月＞	心の探求 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ 教育心理学 教育実習指導Ⅱ 教育実習Ⅱ **教職実践演習（幼）** **発達心理学** **総合演習Ａ** **総合演習Ｂ** **卒業研究演習Ⅰ** **卒業研究演習Ⅱ** **卒業研究**
専	教授	原田　明美 (67) ＜平成30年4月＞	保育者論 保育原理 保育実習指導Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実践演習 **乳児保育Ⅰ** **乳児保育Ⅱ** **子ども家庭福祉** **保育内容指導法（環境）** **保育内容指導法（人間関係）** **幼児と人間関係** **幼児と環境** **卒業研究演習Ⅰ** **卒業研究演習Ⅱ** **卒業研究**
専	教授	髙橋　一郎 (60) ＜平成30年4月＞	多文化共生研究 海外保育フィールド・スタディ 国際関係論 地域研究Ⅰ Study Abroad Preparation 海外語学研修 海外保育留学 国際教養総論 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	寺田　恭子 (56) ＜平成30年4月＞	教育実習入門 チームビルディング実践 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ スポーツ健康論 スポーツⅠ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究 **幼児体育Ａ** **幼児体育Ｂ** **幼児と健康**

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	木村　達志 (53) ＜平成30年4月＞	保育内容指導法「生活と健康」 スポーツ健康論 子どもの保健ⅠA 食と生命の科学 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ 体育A 卒業研究演習Ⅰ 保育実践演習 体育B 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	内田　政一 (52) ＜平成30年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 海外幼児教育インターンシップ　総合演習A Study Abroad Preparation 総合演習B 海外語学研修 海外保育留学 ことばのメカニズム 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	石山　英明 (48) ＜平成30年4月＞	音楽ⅠA 基礎演習Ⅰ 芸術の世界 音楽ⅠB 基礎演習Ⅱ 音楽ⅡA 音楽ⅡB 卒業研究演習Ⅰ 保育実践演習 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	田端　智美 (48) ＜平成30年4月＞	教育実習入門 基礎演習Ⅰ 芸術の世界 図画工作A 基礎演習Ⅱ 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ 保育内容指導法「生活と表現Ⅱ」 卒業研究演習Ⅰ 教育実習指導Ⅱ 卒業研究演習Ⅱ 教職実践演習 教育実習Ⅱ 卒業研究

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	木村　達志 (53) ＜平成30年4月＞	保育内容指導法「生活と健康」 スポーツ健康論 子どもの保健ⅠA 食と生命の科学 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ 体育A 卒業研究演習Ⅰ 保育実践演習 体育B 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	内田　政一 (52) ＜平成30年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 海外幼児教育インターンシップ 総合演習A Study Abroad Preparation 総合演習B 海外語学研修 海外保育留学 ことばのメカニズム 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	石山　英明 (48) ＜平成30年4月＞	音楽ⅠA 基礎演習Ⅰ 芸術の世界 音楽ⅠB 基礎演習Ⅱ 音楽ⅡA 音楽ⅡB 卒業研究演習Ⅰ 保育実践演習 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	田端　智美 (48) ＜平成30年4月＞	教育実習入門 基礎演習Ⅰ 芸術の世界 図画工作A 基礎演習Ⅱ 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ 保育内容指導法「生活と表現Ⅱ」 卒業研究演習Ⅰ 教育実習指導Ⅱ 卒業研究演習Ⅱ 教職実践演習 教育実習Ⅱ 卒業研究

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	木村　達志 (54) ＜平成30年4月＞	スポーツ健康論 食と生命の科学 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ 卒業研究演習Ⅰ 保育実践演習 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究 **幼児体育A** **幼児体育B** **幼児と健康** **子どもの保健** **子どもの健康と安全** **保育内容指導法（健康）**
専	准教授	内田　政一 (53) ＜平成30年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 海外幼児教育インターンシップ 総合演習A Study Abroad Preparation 総合演習B 海外語学研修 海外保育留学 ことばのメカニズム 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	**教授**	石山　英明 (49) ＜平成30年4月＞	基礎演習Ⅰ 芸術の世界 基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 保育実践演習 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究 **幼児と表現** **幼児音楽A** **幼児音楽B** **教育実習入門**
専	准教授	田端　智美 (49) ＜平成30年4月＞	教育実習入門 基礎演習Ⅰ 芸術の世界 基礎演習Ⅱ 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ 卒業研究演習Ⅰ 教育実習指導Ⅱ 卒業研究演習Ⅱ **教職実践演習（幼）** 教育実習Ⅱ 卒業研究 **ボランティア（海外）** **保育内容指導法（表現）** **幼児造形A** **幼児造形B** **幼児と表現**

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	木村　達志 (55) ＜平成30年4月＞	スポーツ健康論 食と生命の科学 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ 卒業研究演習Ⅰ 保育実践演習 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究 **幼児体育A** **幼児体育B** **幼児と健康** **子どもの保健** **子どもの健康と安全** **保育内容指導法（健康）** **総合演習A** **総合演習B**
専	准教授	内田　政一 (54) ＜平成30年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ **総合英語Ⅲ** **総合英語Ⅳ** 海外幼児教育インターンシップ 総合演習A Study Abroad Preparation 総合演習B 海外語学研修 海外保育留学 ことばのメカニズム 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	**教授**	石山　英明 (50) ＜平成30年4月＞	基礎演習Ⅰ 芸術の世界 基礎演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 保育実践演習 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究 **幼児と表現** **幼児音楽A** **幼児音楽B** **教育実習入門**
専	准教授	田端　智美 (50) ＜平成30年4月＞	教育実習入門 基礎演習Ⅰ 芸術の世界 基礎演習Ⅱ 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ 卒業研究演習Ⅰ 教育実習指導Ⅱ 卒業研究演習Ⅱ **教職実践演習（幼）** 教育実習Ⅱ 卒業研究 **ボランティア（海外）** **保育内容指導法（表現）** **幼児造形A** **幼児造形B** **幼児と表現**

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	小野　克志 (48) ＜平成30年4月＞	海外保育フィールド・スタディ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 海外の保育 Study Abroad Preparation 海外語学研修 海外保育留学 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	助教	加藤　あや美 (38) ＜平成30年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解 海外幼児教育インターンシップ 総合演習Ａ Teaching English for Children Study Abroad Preparation 総合演習Ｂ 海外語学研修 海外保育留学 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
兼担	教授	小嶋　玲子 (62) ＜平成31年4月＞	幼児理解とカウンセリング 保育相談支援 教育相談
兼担	教授	金子　晃之 (56) ＜平成30年4月＞	教育原理 教育制度
兼担	教授	太田　早津美 (65) ＜平成33年4月＞	家庭支援論
兼担	教授	古畑　淳 (46) ＜平成30年4月＞	社会福祉
兼担	准教授	上村　晶 (42) ＜平成33年4月＞	保育課程論
兼担	准教授	北島　信子 (43) ＜平成31年4月＞	教育の方法 生活
兼担	教授	市野　繁子 (55) ＜平成30年4月＞	保育内容総論
兼担	准教授	勝浦　眞仁 (37) ＜平成31年4月＞	障害児保育

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	小野　克志 (48) ＜平成30年4月＞	海外保育フィールド・スタディ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 海外の保育 Study Abroad Preparation 海外語学研修 海外保育留学 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	**准教授**	加藤　あや美 (38) ＜平成30年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解 海外幼児教育インターンシップ 総合演習Ａ Teaching English for Children Study Abroad Preparation 総合演習Ｂ 海外語学研修 海外保育留学 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
兼担	教授	小嶋　玲子 (63) ＜平成31年4月＞	幼児理解とカウンセリング 保育相談支援 教育相談
兼担	教授	金子　晃之 (56) ＜平成30年4月＞	教育原理 教育制度
兼担	教授	太田　早津美 (65) ＜平成33年4月＞	家庭支援論
兼担	教授	古畑　淳 (46) ＜平成30年4月＞	社会福祉
兼担	准教授	上村　晶 (42) ＜平成33年4月＞	保育課程論
兼担	准教授	北島　信子 (43) ＜平成31年4月＞	教育の方法 生活
兼任	**講師**	市野　繁子 (55) ＜平成30年4月＞	保育内容総論
兼担	准教授	勝浦　眞仁 (38) ＜平成31年4月＞	障害児保育

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	小野　克志 (49) ＜平成30年4月＞	海外保育フィールド・スタディ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 海外の保育 Study Abroad Preparation 海外語学研修 海外保育留学 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	**准教授**	加藤　あや美 (39) ＜平成30年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解 海外幼児教育インターンシップ 総合演習Ａ Teaching English for Children Study Abroad Preparation 総合演習Ｂ 海外語学研修 海外保育留学 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
兼担	教授	小嶋　玲子 (64) ＜平成31年4月＞	教育相談 **子ども家庭支援の心理学** **子ども理解と理論の方法** **子育て支援**
兼担	教授	金子　晃之 (57) ＜平成30年4月＞	教育原理 教育制度
兼担	教授	太田　早津美 (66) **＜令和2年4月＞**	**子ども家庭支援論**
兼担	教授	古畑　淳 (47) ＜平成30年4月＞	社会福祉
兼担	**教授**	上村　晶 (43) ＜令和3年4月＞	**保育カリキュラム論**
兼担	准教授	北島　信子 (44) ＜平成31年4月＞	教育の方法
兼任	**講師**	**吉田　真弓** **(49)** **＜平成31年4月＞**	**保育内容総論**
兼担	准教授	勝浦　眞仁 (39) ＜平成31年4月＞	障害児保育

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	小野　克志 (50) ＜平成30年4月＞	海外保育フィールド・スタディ 海外の保育 Study Abroad Preparation 海外語学研修 海外保育留学 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	**准教授**	加藤　あや美 (40) ＜平成30年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ **英語コミュニケーションⅢ** **英語コミュニケーションⅣ** 異文化理解 海外幼児教育インターンシップ 総合演習Ａ Teaching English for Children Study Abroad Preparation 総合演習Ｂ 海外語学研修 海外保育留学 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
兼担	教授	小嶋　玲子 (65) ＜平成31年4月＞	教育相談 **子ども家庭支援の心理学** **子ども理解と理論の方法** **子育て支援**
兼担	教授	金子　晃之 (58) ＜平成30年4月＞	教育原理 教育制度
兼担	教授	太田　早津美 (67) **＜令和2年4月＞**	**子ども家庭支援論**
兼担	教授	古畑　淳 (48) ＜平成30年4月＞	社会福祉
兼担	**教授**	上村　晶 (44) ＜令和3年4月＞	**保育カリキュラム論**
兼担	**准教授**	**福島　耕平** **(49)** **＜令和2年4月＞**	**教育の方法**
兼担	**教授**	**伊藤　茂美** **(61)** **＜令和2年4月＞**	**保育内容総論**
兼担	准教授	勝浦　眞仁 (40) ＜平成31年4月＞	障害児保育

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	森川　拓也 (53) ＜平成30年4月＞	国語
兼担	准教授	基村　昌代 (47) ＜平成30年4月＞	芸術の世界 音楽ⅡＡ 音楽ⅡＢ
兼担	教授	淺野　卓司 (48) ＜平成30年4月＞	図画工作Ｂ
兼担	教授	辻岡　和代 (40) ＜平成31年4月＞	食と生命の科学 子どもの食と栄養
兼担	教授	嶋守　さやか (46) ＜平成30年4月＞	現代社会と女性 地域社会
兼担	教授	藤田　公和 (63) ＜平成31年4月＞	食と生命の科学
兼担	教授	成田　弘成 (64) ＜平成30年4月＞	女性とジェンダー 世界の宗教 地域研究Ⅵ インターンシップ（海外） ボランティア（海外） NGO・NPO論
兼担	教授	森田　優己 (63) ＜平成30年4月＞	生活と経済
兼担	教授	根尾　文彦 (62) ＜平成31年4月＞	現代社会と企業 地域協力演習 インターンシップ（国内）
兼担	教授	高　文軍 (63) ＜平成30年4月＞	中国語と文化Ⅰ 中国語と文化Ⅱ 海外研修Ａ 海外研修Ｂ
兼担	准教授	布和 (51) ＜平成31年4月＞	中国語と文化Ⅲ 中国語と文化Ⅳ
兼担	教授	都　恩珍 (48) ＜平成31年4月＞	韓国語と文化Ⅲ 韓国語と文化Ⅳ 海外研修Ａ 海外研修Ｂ

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	森川　拓也 (53) ＜平成30年4月＞	国語
兼担	准教授	基村　昌代 (47) ＜平成30年4月＞	芸術の世界 音楽ⅡＡ 音楽ⅡＢ
兼担	教授	淺野　卓司 (48) ＜平成30年4月＞	図画工作Ｂ
兼担	教授	辻岡　和代 (41) ＜平成31年4月＞	食と生命の科学 子どもの食と栄養
兼担	教授	嶋守　さやか (46) ＜平成30年4月＞	現代社会と女性 地域社会
兼担	教授	藤田　公和 (63) ＜平成31年4月＞	食と生命の科学
兼担	教授	成田　弘成 (64) ＜平成30年4月＞	女性とジェンダー 世界の宗教 地域研究Ⅵ インターンシップ（海外）Ａ インターンシップ（海外）Ｂ インターンシップ（海外）Ｃ インターンシップ（海外）Ｄ ボランティア（海外） NGO・NPO論
兼担	教授	森田　優己 (63) ＜平成30年4月＞	生活と経済
兼担	教授	根尾　文彦 (62) ＜平成31年4月＞	現代社会と企業 地域協力演習 インターンシップ（国内）
兼担	教授	高　文軍 (63) ＜平成30年4月＞	海外研修Ａ 海外研修Ｂ
兼担	准教授	布和 (51) ＜平成31年4月＞	中国語と文化Ⅰ 中国語と文化Ⅱ 中国語と文化Ⅲ 中国語と文化Ⅳ
兼担	教授	都　恩珍 (48) ＜平成31年4月＞	韓国語と文化Ⅲ 韓国語と文化Ⅳ 海外研修Ａ 海外研修Ｂ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	基村　昌代 (48) ＜平成30年4月＞	芸術の世界
兼担	教授	辻岡　和代 (42) ＜平成31年4月＞	食と生命の科学 子どもの食と栄養
兼担	教授	嶋守　さやか (47) ＜平成30年4月＞	現代社会と女性 地域社会 ボランティア（海外）
兼担	教授	藤田　公和 (64) ＜平成31年4月＞	食と生命の科学
兼任	講師	成田　弘成 (65) ＜平成30年4月＞	女性とジェンダー NGO・NPO論
兼担	准教授	Donovan Clarke (56) ＜平成31年4月＞	インターンシップ（海外）Ａ インターンシップ（海外）Ｂ インターンシップ（海外）Ｃ インターンシップ（海外）Ｄ
兼担	教授	森田　優己 (64) ＜平成30年4月＞	生活と経済 現代社会と企業
兼担	教授	根尾　文彦 (63) ＜平成31年4月＞	地域協力演習 インターンシップ（国内）Ａ インターンシップ（国内）Ｂ
兼担	教授	高　文軍 (64) ＜平成30年4月＞	海外研修Ａ 海外研修Ｂ 中国語と文化Ⅲ 中国語と文化Ⅳ
兼担	准教授	布和 (52) ＜平成31年4月＞	地域研究Ⅴ 中国語と文化Ⅰ 中国語と文化Ⅱ 中国語と文化Ⅲ 中国語と文化Ⅳ
兼担	教授	都　恩珍 (49) ＜平成31年4月＞	韓国語と文化Ⅲ 韓国語と文化Ⅳ 海外研修Ａ 海外研修Ｂ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	基村　昌代 (49) ＜平成30年4月＞	芸術の世界
兼担	教授	辻岡　和代 (43) ＜平成31年4月＞	食と生命の科学 子どもの食と栄養
兼担	教授	嶋守　さやか (48) ＜平成30年4月＞	現代社会と女性 地域社会 ボランティア（海外）
兼担	准教授	Donovan Clarke (57) ＜平成31年4月＞	インターンシップ（海外）Ａ インターンシップ（海外）Ｂ インターンシップ（海外）Ｃ インターンシップ（海外）Ｄ
兼担	教授	根尾　文彦 (64) ＜平成31年4月＞	地域協力演習 インターンシップ（国内）Ａ インターンシップ（国内）Ｂ
兼担	准教授	布和 (53) ＜平成31年4月＞	地域研究Ⅴ 中国語と文化Ⅰ 中国語と文化Ⅱ 日本の文化 海外研修Ａ 海外研修Ｂ
兼担	教授	都　恩珍 (50) ＜平成31年4月＞	韓国語と文化Ⅲ 韓国語と文化Ⅳ 海外研修Ａ 海外研修Ｂ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	井川　恵理 （56） ＜平成31年4月＞	海外研修Ａ 海外研修Ｂ
兼任	講師	吉見　昌弘 （53） ＜平成30年4月＞	保育内容指導法「生活と言葉」
兼任	講師	太田　昌孝 （58） ＜平成30年4月＞	文学の世界
兼任	講師	井上　文人 （65） ＜平成30年4月＞	生き方の探求
兼任	講師	辻　広志 （54） ＜平成31年4月＞	環境の科学
兼任	講師	上原　隆司 （36） ＜平成33年4月＞	統計学
兼任	講師	上野　善子 （50） ＜平成30年4月＞	子どもの保健ＩＢ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	近藤　日出夫 （66） ＜平成31年4月＞	社会的養護 相談援助
兼任	講師	麓　洋介 （46） ＜平成31年4月＞	保育内容指導法「生活と表現Ｉ」
兼任	講師	上田　一稔 （36） ＜平成31年4月＞	社会的養護内容
兼任	講師	小林　美記代 （65） ＜平成31年4月＞	算数
兼任	講師	古賀　弘之 （45） ＜平成30年4月＞	音楽ＩＡ 音楽ＩＢ

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	井川　恵理 （56） ＜平成31年4月＞	海外研修Ａ 海外研修Ｂ
兼任	講師	吉見　昌弘 （53） ＜平成30年4月＞	保育内容指導法「生活と言葉」
兼任	講師	太田　昌孝 （58） ＜平成30年4月＞	文学の世界
兼任	講師	井上　文人 （65） ＜平成30年4月＞	生き方の探求
兼任	講師	辻　広志 （54） ＜平成31年4月＞	環境の科学
兼任	講師	上原　隆司 （36） ＜平成33年4月＞	統計学
兼任	講師	船井　廣則 （68） ＜平成30年4月＞	子どもの保健ＩＢ
兼任	講師	近藤　日出夫 （66） ＜平成31年4月＞	社会的養護 相談援助
兼任	講師	麓　洋介 （46） ＜平成31年4月＞	保育内容指導法「生活と表現Ｉ」
兼任	講師	上田　一稔 （36） ＜平成31年4月＞	社会的養護内容
兼任	講師	小林　美記代 （65） ＜平成31年4月＞	算数
兼任	講師	古賀　弘之 （45） ＜平成30年4月＞	音楽ＩＡ 音楽ＩＢ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	井川　恵理 （57） ＜平成31年4月＞	海外研修Ａ 海外研修Ｂ
兼担	教授	斎　孝則 （63） ＜平成31年4月＞	世界の宗教 地域研究Ⅱ
兼担	助教	小柳津　和博 （40） ＜平成32年4月＞	特別支援基礎論
兼任	講師	吉見　昌弘 （54） ＜平成30年4月＞	保育内容指導法（言葉） 幼児と言葉
兼任	講師	太田　昌孝 （59） ＜平成30年4月＞	文学の世界
兼任	講師	井上　文人 （66） ＜平成30年4月＞	生き方の探求
兼任	講師	辻　広志 （55） ＜平成31年4月＞	環境の科学
兼任	講師	上原　隆司 （37） ＜平成33年4月＞	統計学 生き物の社会
兼任	講師	船井　廣則 （69） ＜平成30年4月＞	子どもの保健ＩＢ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	近藤　日出夫 （67） ＜平成31年4月＞	社会的養護Ⅰ
兼任	講師	麓　洋介 （47） ＜平成31年4月＞	保育内容指導法（表現）
兼任	講師	上田　一稔 （37） ＜平成31年4月＞	社会的養護Ⅱ
兼任	講師	小林　美記代 （66） ＜平成31年4月＞	算数
兼任	講師	古賀　弘之 （46） ＜平成30年4月＞	幼児音楽Ａ 幼児音楽Ｂ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	井川　恵理 （58） ＜平成31年4月＞	海外研修Ａ 海外研修Ｂ
兼担	教授	斎　孝則 （64） ＜平成31年4月＞	世界の宗教 地域研究Ⅱ
兼担	助教	小柳津　和博 （41） ＜平成32年4月＞	特別支援基礎論 障害児保育
兼担	教授	寺田　泰人 （57） ＜令和2年4月＞	スポーツＩ
兼任	講師	吉見　昌弘 （55） ＜平成30年4月＞	保育内容指導法（言葉） 幼児と言葉
兼任	講師	太田　昌孝 （60） ＜平成30年4月＞	文学の世界
兼任	講師	井上　文人 （67） ＜平成30年4月＞	生き方の探求
兼任	講師	辻　広志 （56） ＜平成31年4月＞	環境の科学
兼任	講師	上原　隆司 （38） ＜平成33年4月＞	生き物の社会 情報社会論
兼任	講師	近藤　日出夫 （68） ＜平成31年4月＞	社会的養護Ⅰ
兼任	講師	麓　洋介 （48） ＜平成31年4月＞	保育内容指導法（表現）
兼任	講師	上田　一稔 （38） ＜平成31年4月＞	社会的養護Ⅱ
兼任	講師	古賀　弘之 （47） ＜平成30年4月＞	幼児音楽Ａ 幼児音楽Ｂ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	加藤　希央 (47) ＜平成30年4月＞	音楽ⅠA 音楽ⅠB 音楽ⅡA 音楽ⅡB
兼任	講師	浦中　浩一 (39) ＜平成30年4月＞	児童文化
兼任	講師	鈴村　昌子 (61) ＜平成31年4月＞	子どもの食と栄養
兼任	講師	平沼　公子 (37) ＜平成30年4月＞	地域研究Ⅱ
兼任	講師	梅木　陽子 (34) ＜平成31年4月＞	地域研究Ⅲ
兼任	講師	生井　正人 (53) ＜平成31年4月＞	地域研究Ⅳ
兼任	講師	織田　まゆみ (63) ＜平成31年4月＞	地域研究Ⅴ
兼任	講師	小久保　嘉紀 (38) ＜平成30年4月＞	人間と歴史
兼任	講師	マーチン　ベルドン (43) ＜平成30年4月＞	日本の文化
兼任	講師	横井　康博 (49) ＜平成31年4月＞	スポーツⅠ
兼任	講師	榎本　宣子 (65) ＜平成31年4月＞	スポーツⅡ
兼任	講師	小磯　浩世 (50) ＜平成31年4月＞	スポーツⅡ

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	加藤　希央 (47) ＜平成30年4月＞	音楽ⅠA 音楽ⅠB 音楽ⅡA 音楽ⅡB
兼任	講師	浦中　浩一 (39) ＜平成30年4月＞	児童文化
兼任	講師	鈴村　昌子 (61) ＜平成31年4月＞	子どもの食と栄養
兼任	講師	平沼　公子 (37) ＜平成30年4月＞	地域研究Ⅱ
兼任	講師	梅木　陽子 (34) ＜平成31年4月＞	地域研究Ⅲ
兼任	講師	生井　正人 (53) ＜平成31年4月＞	地域研究Ⅳ
兼任	講師	織田　まゆみ (63) ＜平成31年4月＞	地域研究Ⅴ
兼任	講師	小久保　嘉紀 (38) ＜平成30年4月＞	人間と歴史
兼任	講師	マーチン　ベルドン (44) ＜平成30年4月＞	日本の文化
兼任	講師	横井　康博 (49) ＜平成31年4月＞	スポーツⅠ
兼任	講師	榎本　宣子 (65) ＜平成31年4月＞	スポーツⅡ
兼任	講師	小磯　浩世 (50) ＜平成31年4月＞	スポーツⅡ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	加藤　希央 (48) ＜平成30年4月＞	幼児音楽Ａ 幼児音楽Ｂ
兼任	講師	浦中　浩一 (40) ＜平成30年4月＞	児童文化
兼任	講師	鈴村　昌子 (62) ＜平成31年4月＞	子どもの食と栄養
兼任	講師	平沼　公子 (38) ＜平成30年4月＞	地域研究Ⅵ
兼任	講師	新海　英史 (45) ＜平成31年4月＞	地域研究Ⅲ
兼任	講師	砂野　唯 (35) ＜平成31年4月＞	地域研究Ⅳ
兼任	講師	小久保　嘉紀 (39) ＜平成30年4月＞	人間と歴史
兼任	講師	マーチン　ベルドン (45) ＜平成30年4月＞	日本の文化
兼任	講師	横井　康博 (50) ＜平成31年4月＞	スポーツⅠ
兼任	講師	榎本　宣子 (66) ＜平成31年4月＞	スポーツⅡ
兼任	講師	伊藤　傑 (38) ＜平成31年4月＞	スポーツⅡ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	加藤　希央 (49) ＜平成30年4月＞	幼児音楽Ａ 幼児音楽Ｂ
兼任	講師	浦中　浩一 (41) ＜平成30年4月＞	児童文化
兼任	講師	鈴村　昌子 (63) ＜平成31年4月＞	子どもの食と栄養
兼任	講師	小林　純子 (48) ＜令和2年4月＞	地域研究Ⅵ
兼任	講師	生井　正人 (55) ＜令和2年4月＞	地域研究Ⅲ
兼任	講師	近藤　有希子 (33) ＜令和2年4月＞	地域研究Ⅳ
兼任	講師	小久保　嘉紀 (40) ＜平成30年4月＞	人間と歴史
兼任	講師	横井　康博 (51) ＜平成31年4月＞	スポーツⅠ
兼任	講師	榎本　宣子 (67) ＜平成31年4月＞	スポーツⅡ
兼任	講師	伊藤　傑 (39) ＜平成31年4月＞	スポーツⅡ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	南　裕一郎 (45) ＜平成33年4月＞	社会調査法
兼任	講師	木村　登次 (58) ＜平成33年4月＞	情報社会論
兼任	講師	鬼頭　恭子 (51) ＜平成30年4月＞	コンピュータⅠ コンピュータⅡ
兼任	講師	石川　香代子 (52) ＜平成30年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	佐藤　裕子 (66) ＜平成31年4月＞	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ
兼任	講師	髙橋　妙子 (55) ＜平成31年4月＞	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ
兼任	講師	三浦　紀美代 (39) ＜平成31年4月＞	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ
兼任	講師	パーラー ダニエル リー (36) ＜平成33年4月＞	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	ジェイミー ローランド エイドリアン モリッシュ (40) ＜平成33年4月＞	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	アントゥネス 富松 エミ (57) ＜平成30年4月＞	ポルトガル語と文化Ⅰ ポルトガル語と文化Ⅱ
兼任	講師	ロンセロス　ロサリオ (55) ＜平成30年4月＞	スペイン語と文化Ⅰ スペイン語と文化Ⅱ
兼任	講師	中島　潤 (45) ＜平成30年4月＞	フランス語と文化Ⅰ フランス語と文化Ⅱ
兼任	講師	金　三淑 (47) ＜平成30年4月＞	韓国語と文化Ⅰ 韓国語と文化Ⅱ

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	南　裕一郎 (45) ＜平成33年4月＞	社会調査法
兼任	講師	木村　登次 (58) ＜平成33年4月＞	情報社会論
兼任	講師	鬼頭　恭子 (51) ＜平成30年4月＞	コンピュータⅠ コンピュータⅡ
兼任	講師	石川　香代子 (52) ＜平成30年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	佐藤　裕子 (66) ＜平成31年4月＞	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ
兼任	講師	髙橋　妙子 (55) ＜平成31年4月＞	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ
兼任	講師	三浦　紀美代 (39) ＜平成31年4月＞	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ
兼任	講師	パーラー ダニエル リー (36) ＜平成33年4月＞	英語コミュニケーションⅠ　英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	ジェイミー ローランド エイドリアン モリッシュ (40) ＜平成33年4月＞	英語コミュニケーションⅢ　英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	アントゥネス 富松 エミ (58) ＜平成30年4月＞	ポルトガル語と文化Ⅰ ポルトガル語と文化Ⅱ
兼任	講師	ロンセロス　ロサリオ (55) ＜平成30年4月＞	スペイン語と文化Ⅰ スペイン語と文化Ⅱ
兼任	講師	中島　潤 (45) ＜平成30年4月＞	フランス語と文化Ⅰ フランス語と文化Ⅱ
兼任	講師	金　三淑 (47) ＜平成30年4月＞	韓国語と文化Ⅰ 韓国語と文化Ⅱ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	南　裕一郎 (46) ＜平成33年4月＞	社会調査法
兼任	講師	木村　登次 (59) ＜平成33年4月＞	情報社会論
兼任	講師	鬼頭　恭子 (52) ＜平成30年4月＞	コンピュータⅠ コンピュータⅡ
兼任	講師	石川　香代子 (53) ＜平成30年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	佐藤　裕子 (67) ＜平成31年4月＞	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ
兼任	講師	髙橋　妙子 (56) ＜平成31年4月＞	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ
兼任	講師	三浦　紀美代 (40) ＜平成31年4月＞	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ
兼任	講師	パーラー ダニエル リー (37) ＜平成33年4月＞	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	ジェイミー ローランド エイドリアン モリッシュ (41) ＜平成33年4月＞	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	アントゥネス 富松 エミ (59) ＜平成30年4月＞	ポルトガル語と文化Ⅰ ポルトガル語と文化Ⅱ
兼任	講師	ロンセロス　ロサリオ (56) ＜平成30年4月＞	スペイン語と文化Ⅰ スペイン語と文化Ⅱ
兼任	講師	中島　潤 (46) ＜平成30年4月＞	フランス語と文化Ⅰ フランス語と文化Ⅱ
兼任	講師	金　三淑 (48) ＜平成30年4月＞	韓国語と文化Ⅰ 韓国語と文化Ⅱ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	南　裕一郎 (48) ＜平成33年4月＞	社会調査法
兼任	講師	鬼頭　恭子 (53) ＜平成30年4月＞	コンピュータⅠ コンピュータⅡ
兼任	講師	石川　香代子 (54) ＜平成30年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	**大橋　昌弥 (58) ＜令和2年4月＞**	**総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ**
兼任	講師	髙橋　妙子 (57) ＜平成31年4月＞	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ
兼任	講師	**エレナ　スギウラ (47) ＜令和3年4月＞**	**英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ**
兼任	講師	アントゥネス 富松 エミ (60) ＜平成30年4月＞	ポルトガル語と文化Ⅰ ポルトガル語と文化Ⅱ
兼任	講師	ロンセロス　ロサリオ (57) ＜平成30年4月＞	スペイン語と文化Ⅰ スペイン語と文化Ⅱ
兼任	講師	中島　潤 (47) ＜平成30年4月＞	フランス語と文化Ⅰ フランス語と文化Ⅱ
兼任	講師	金　三淑 (49) ＜平成30年4月＞	韓国語と文化Ⅰ 韓国語と文化Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	早野　暁 (48) ＜平成31年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	千賀　メリッサ (57) ＜平成30年4月＞	Basic Communication in English Ⅰ Basic Communication in English Ⅱ Intermediate Communication in English Ⅰ Intermediate Communication in English Ⅱ
兼任	講師	ローレン ランズベリー (42) ＜平成30年4月＞	Basic Communication in English Ⅰ Basic Communication in English Ⅱ Intermediate Communication in English Ⅰ Intermediate Communication in English Ⅱ

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	早野　暁 (48) ＜平成31年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	千賀　メリッサ (57) ＜平成30年4月＞	Intermediate Communication in English Ⅰ Intermediate Communication in English Ⅱ
兼任	講師	ジュネジャ　インドゥ (63) ＜平成30年4月＞	Basic Communication in English Ⅰ　Basic Communication in English Ⅱ
兼任	講師	ローレン ランズベリー (42) ＜平成30年4月＞	Basic Communication in English Ⅰ Basic Communication in English Ⅱ Intermediate Communication in English Ⅰ Intermediate Communication in English Ⅱ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	早野　暁 (49) ＜平成31年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	ジョセフ　シキ (54) ＜平成31年4月＞	Intermediate Communication in English Ⅰ Intermediate Communication in English Ⅱ Basic Communication in English Ⅰ Basic Communication in English Ⅱ
兼任	講師	ジュネジャ　インドゥ (64) ＜平成30年4月＞	Intermediate Communication in English Ⅰ Intermediate Communication in English Ⅱ Basic Communication in English Ⅰ Basic Communication in English Ⅱ
兼任	講師	ローレン ランズベリー (43) ＜平成30年4月＞	Basic Communication in English Ⅰ Basic Communication in English Ⅱ Intermediate Communication in English Ⅰ Intermediate Communication in English Ⅱ
兼任	講師	井川 和道 (63) ＜平成31年4月＞	生涯学習

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	早野　暁 (50) ＜平成31年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	ジョセフ　シキ (55) ＜平成31年4月＞	Intermediate Communication in English Ⅰ Intermediate Communication in English Ⅱ Basic Communication in English Ⅰ Basic Communication in English Ⅱ
兼任	講師	ジュネジャ　インドゥ (65) ＜平成30年4月＞	Intermediate Communication in English Ⅰ Intermediate Communication in English Ⅱ Basic Communication in English Ⅰ Basic Communication in English Ⅱ
兼任	講師	ローレン ランズベリー (44) ＜平成30年4月＞	Basic Communication in English Ⅰ Basic Communication in English Ⅱ Intermediate Communication in English Ⅰ Intermediate Communication in English Ⅱ
兼任	講師	井川 和道 (64) ＜平成31年4月＞	生涯学習
兼任	講師	塚本　高浩 (27) ＜令和3年4月＞	統計学 現代社会と企業
兼任	講師	高山　美佳 (42) ＜令和2年4月＞	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	張　海燕 (33) ＜令和2年4月＞	中国語と文化Ⅲ 中国語と文化Ⅳ
兼任	講師	内田　将平 (25) ＜令和2年4月＞	教育の方法

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石月　静恵 （68） ＜令和2年4月＞
		女性とジェンダー
兼任	講師	古藪　真紀子 （49） ＜令和3年4月＞
		NGO・NPO論
兼任	講師	茶谷　淳一 （58） ＜令和2年4月＞
		生活と経済

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成３０年度】

・上野善子講師辞退により、船井廣則講師就任。
・平成30年4月ジュネジャ・インドゥ講師就任。

【令和元年度】

・市野繁子講師辞退により、平成31年4月吉田真弓講師就任。
・成田弘成兼担講師定年退職により、平成31年4月Donovan Clarke兼担講師・斎孝則兼担講師就任。
・梅木陽子講師辞退により、平成31年4月新海英史講師就任。
・生井正人講師辞退により、平成31年4月砂野唯講師就任。
・小磯浩世講師辞退により、平成31年4月伊藤僚講師就任。
・千賀メリッサ講師辞退により、平成31年4月ジョセフシキ講師就任。
・「生涯学習」新規科目により、平成31年4月井川和道講師就任。
・「生き物の社会」新規科目により、平成33年4月上原隆司講師就任。
・「特別支援基礎論」新規科目により、平成32年4月小柳津和博兼担講師就任。

【令和２年度】

・北島信子兼担講師退職により福島耕平兼担講師および内田将平講師就任。
・吉田真弓兼任講師辞退により伊藤茂美兼担講師就任。
・藤田公和兼担講師定年退職。
・森田優己兼担講師定年退職により茶谷淳一兼任講師および塚本高浩兼任講師就任。
・高文軍兼担講師定年退職により張海燕講師就任。
・安全な授業運営のため寺田泰人兼担講師就任。
・平沼公子兼任講師育児休業により小林純子講師就任。
・新海英史兼任講師退職により生井正人講師就任。
・砂野唯講師辞退により近藤有希子講師就任。
・マーチン　ベルドン講師辞退により布和兼担講師が当該科目を担当。
・木村登次講師辞退により上原隆司講師就任。
・佐藤裕子講師辞退により大橋昌弥講師就任。
・三浦紀美代講師辞退により内田政一准教授が当該科目を担当。
・バーラー　ダニエル　リー講師辞退によりエレナ　スギウラ講師就任。
・小野克志准教授担当辞退により髙山美佳講師就任。
・ジェイミー　ローランド　エイドリアン　モリッシュ氏辞退により加藤あや美准教授が当該科目を担当。
・成田弘成兼担講師辞退により石月静恵講師および古藪真紀子氏就任。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）ー①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
5 名	3 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）ー②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
5	4	0	1	10	0	6	4	0	0	10	1
（５）	（４）	（０）	(1)	(10)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
6	4	0	0	10	1	6	4	0	0	10	1
[1]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[1]	[1]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[1]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	2 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）ー④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{10} = 100\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{10} = 20\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）専任教員辞任等の理由　　該当なし

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	◎◎　◎◎	H00.10	必修	○○概論	①	H00.0……のため就任辞退（29）
				選択	◆◆基礎	②	
				必修	☆☆演習	③	
2	准教授	△△　△△	R元.12	自由	××語	②	R元.12……のため就任辞退（２）
				必修	▲▲実習	③	
				必修	◇◇特論	①	

合計（D）			後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
○○　人	必修	#VALUE!　科目		必修	○○　科目	必修	○○　科目	必修	○○　科目
	選択	#VALUE!　科目		選択	○○　科目	選択	○○　科目	選択	○○　科目
	自由	#VALUE!　科目		自由	○○　科目	自由	○○　科目	自由	○○　科目
	計	0　科目		計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況　　該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	◎◎　◎◎	H29.3	必修	○○概論	①	H29.3.31付け……のため辞任（29）
				選択	◆◆基礎	②	
				必修	☆☆演習	③	
2	准教授	△△　△△	R2.3	自由	××語	②	R2.3.31付け……のため辞任（２）
				必修	▲▲実習	③	
				必修	◇◇特論	①	

合計（F）			後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
○○　人	必修	#VALUE!　科目		必修	○○　科目	必修	○○　科目	必修	○○　科目
	選択	#VALUE!　科目		選択	○○　科目	選択	○○　科目	選択	○○　科目
	自由	#VALUE!　科目		自由	○○　科目	自由	○○　科目	自由	○○　科目
	計	0　科目		計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計　　該当なし

合計（D）＋（F）			後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
#VALUE!　人	必修	#VALUE!　科目		必修	######　科目	必修	######　科目	必修	######　科目
	選択	#VALUE!　科目		選択	######　科目	選択	######　科目	選択	######　科目
	自由	#VALUE!　科目		自由	######　科目	自由	######　科目	自由	######　科目
	計	#VALUE!　科目		計	######　科目	計	######　科目	計	######　科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率　　該当なし

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{\text{\#VALUE!}}{10} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（3）ー⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況　　該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	◎◎　◎◎	必修	○○概論	①	H29.3.31付け65歳で定年退職（29）
			選択	◆◆基礎	②	
			必修	☆☆演習	③	
2	准教授	△△　△△	自由	××語	②	R2.3.31付け65歳で定年退職（２）
			必修	▲▲実習	③	
			必修	◇◇特論	①	

合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
○○　人	必修	#VALUE!　科目		必修	○○　科目	必修	○○　科目	必修	○○　科目
	選択	#VALUE!　科目		選択	○○　科目	選択	○○　科目	選択	○○　科目
	自由	#VALUE!　科目		自由	○○　科目	自由	○○　科目	自由	○○　科目
	計	0　科目		計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（4）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」　　該当なし

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （平成30年）	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項	本学科は平成33年度の完成年度に、60代の教員3名、50代6名、40代1名となり、そのうち60代の教員2名が退職予定である。後任は年齢構成的にも30代から40代の教員採用を計画しているとともに、今後教員の採用事案が生じた場合も、学科教員の年齢構成に十分配慮しつつ採用することとする。	履行中	本学科が所属する保育学部全体の教員構成の再構築の中で，特に留意事項を重点事項と定め、今後の教員組織構成の検討を始めている。教員の年齢構成のみならず、その職位についても実績とバランスを考慮しながら学科の適切な教員組織編成に向けて計画的に進めていく。既に年度当初に保育学部長、両学科長（国際教養こども学科、保育学科）で年齢構成を含めた教員構成に関する会合を持ち検討を重ねる。こうした会議を今後定期的に行うことを申し合わせている。
認　可　時 （平成30年）	桜花学園大学学芸学部英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	本学科は設置以来、入学定員を80名としてきたが、カリキュラム改革などによって学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しを検討し、平成28年度よりこれを50名に改めた。その結果、平成30年5月時点では、本学科の収容定員充足率の平均が0.5倍を越えた。	履行中	平成28年度に実施したカリキュラム改革などの成果と、入学定員の見直しにより、定員充足率は急速に回復してきている。加えて平成30年度からは3年次における新しい留学プログラムの広報をスタートさせる。そうした教育内容の充実と入学定員見直しの着実な実施により、定員充足を図る。
設置計画履行状況 調　　査　　時 （令和元年）	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項	本学科は令和3年度の完成年度に、60代の教員3名、50代6名、40代1名となり、そのうち60代の教員2名が退職予定である。後任は年齢構成的にも30代から40代の教員採用を計画しているとともに、今後教員の採用事案が生じた場合も、学科教員の年齢構成に十分配慮しつつ採用することとする。	履行中	本学科が所属する保育学部全体の教員構成の再構築の中で，特に留意事項を重点事項と定め、今後の教員組織構成の検討を始めている。教員の年齢構成のみならず、その職位についても実績とバランスを考慮しながら学科の適切な教員組織編成に向けて計画的に進めていく。既に年度当初に保育学部長、両学科長（国際教養こども学科、保育学科）で年齢構成を含めた教員構成に関する会合を持ち検討を重ねる。こうした会議を今後定期的に行うことを申し合わせていた。開設初年度の平成30年度には学部長学科長間の会合は頻繁に行われ連携が十分図られた。引き続き完成年度に向けコミュニケーションを密にする予定である。
設置計画履行状況 調　　査　　時 （令和元年）	桜花学園大学学芸学部英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	本学科は設置以来、入学定員を80名としてきたが、カリキュラム改革などによって学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しを検討し、平成28年度よりこれを50名に改めた。その結果、平成30年5月時点では、本学科の収容定員充足率の平均は0.5倍を越えた。また令和元年5月時点で、同年度単年では入学定員を上回る学生が入学し、急速に充足率は改善している。	履行中	平成28年度に実施したカリキュラム改革などの成果と、入学定員の見直しにより、定員充足率は急速に回復してきている。加えて平成30年度からは3年次における新しい留学プログラムの広報がスタートしている。そうした教育内容の充実と入学定員見直しの着実な実施により、定員充足を図る。
設置計画履行状況 調　　査　　時 （令和2年）	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を 超える専任教員の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項	本学科は、令和2年4月に情報系の教員を新たに迎え、オンラインによる授業や遠隔で予定している留学中の学生指導などについて教育の質の向上を図る。令和3年度の完成年度に、60代の教員4名、50代 6名、40代1名となり、そのうち60代の教員2名が退職予定である。後任は令和3年度中に公募を実施し、年齢構成的にも30代から40代の教員採用を計画し学科教員の年齢構成に十分配慮しつつ採用することとする。	履行中	本学科が所属する保育学部全体における教員構成再構築の中で、特に留意事項を重点事項と定め、今後の教員組織構成の検討を始めている。教員の年齢構成のみならずその職位についても実績とバランスを考慮しながら学科の適切な教員組織編成に向けて計画的に進めていく。保育学部長、国際教養こども学科長、保育学科長で年齢構成を含めた教員構成に関する会合を持ち検討を重ねる。こうした会議を定期的に行うことを申し合わせ、学部長学科長の三者によるコミュニケーションを完成年度に向け密にする予定である。
設置計画履行状況 調　　査　　時 （令和2年）	桜花学園大学学芸学部英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	本学科は設置以来、入学定員を80名としてきたが、カリキュラム改革などによって学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しを検討し、平成28年度よりこれを50名に改めた。その結果、平成31年5月時点では、本学科の収容定員充足率の平均が0.7倍を越えた。また令和2年5月時点で、2年連続で入学定員を上回る学生が入学しており、令和3年度には単年度の定員だけではなく本学科の収容定員の充足も見込むことが可能である。	履行中	平成28年度に実施したカリキュラム改革などの成果と、入学定員の見直しにより、定員充足率は急速に回復してきている。加えて平成30年度からは3年次における新しい留学プログラムの広報がスタートしており、令和2年後期からの留学予定者を出している。そうした教育内容の充実と入学定員見直しの着実な実施により、定員充足を図る。

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜保育学部　国際教養こども学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
海外研修等の具体的計画 （専門教育科目「海外語学研修」及び「海外保育留学」に関わる約10ヶ月の長期留学）	新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、令和2年2月8日にオーストラリアへ向け出発した当科の1期生49名を同年4月1日に緊急で帰国させた。オーストラリアの保育士資格（certificateⅢ）取得のため、海外語学研修（5単位）および海外保育留学（10単位）を受講予定であったが、海外語学研修を受講している段階での帰国となった。現在海外語学研修はオンラインで受講を継続させているが、4年間での卒業および免許資格の取得を達成するため、学事日程の大幅な変更を検討している。今後、学生の進路や学修の希望についてアンケートを実施する予定である。新型コロナウイルスが収束し人の往来が問題なく行えるようになった時点でオーストラリアへ再渡航する予定である。

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制
a 委員会の設置状況
桜花学園大学FD委員会規程（別紙１）に基づいて，委員会が槽成されている。国際教養こども学科設置に伴い、当学科より委員を選出しFD活動に関わるものとする。教員が10名と少数のため，学科内にFD委員会を設置するのではなく、大学全体の活動に参加するものとする。なお、新学科開設時には開始時には特に授業内容や方法に注意しながら進める必要があり、 学科独自の活動として委員会組織にとらわれず学科内でFDに関する意見交換を進める。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況合む）
教学上の観点から教務委員会と密接に連携を取りながらFD活動に努める。従って、教務委員会実施後にFO委員会を行うものとし、定例委員会として委員会開催予定である。

c 委員会の審議事項等
桜花学園大学のFD委員会規程に基づき、以下に掲げる事項を取り扱い審議する。
(1) FDのための基本方針を移管する事項
(2) FDのための研修会等の開催に関する事項
(3) その他FDに関する事項

② 実施状況
a 実施内容
a-1 教員相互の授業参観
学科開設初年度における授業の運営・学生評価に関する協議を進める上で教員相互の授業参観を実施してきた。参観後のレポートから多くの成果を確認できたため、令和元年11～12月を「相互参観強化月間」とし、授業運営に関わる資質や技術等の向上を促した。
a-2 新任教員のための研修会
新任教員のため研修を次の3回に渡り実施した。①学園本部にて研修を行った，桜花学園の建学の精神をはじめとした当学園の沿革と理念を理解してもらうものと位置づけて実施した。②事務局研修を行った。大学組織の概要、研究費等，経理上の手続きと倫理面でのあり方などが説明された。③最後に学科長より、桜花学園大学のある名古屋キャンパスの教学上の取り組みとその成果などについて説明を行った。また新学科の重要な柱となる、海外保育留学についてその詳細を説明した。これら一連の4月の研修を通して新任教員がスムーズに業務が遂行できるようにした。
a-3 ICT勉強会
キャンパス内で使用している本学学修支援システムのMoodleについて、情報系教員（令和2年4月より当科へ着任）が講師となり勉強会を開催している。
b 実施方法
a-1 教員相互の授業参観
学部内の授業を対称に、事前に授業担当者の了解を得て、期限内2回を限度とし、参観。参観後は授業担当者およびFD委員へレポートを提出する。提出されたレポートはFD委員会年次報告書に記載。
a-2 新任教員のための研修会
①と②は他学科の新任教員を含めての研修、③は国際教養こども学科のみの独自プログラムとして実践した。

a-3 ICT勉強会
学内の情報教室を使用して実施している。双方向の授業内容をIT技術によって構築し、授業運営のための授業担当者の技術向上を目指し、本学学修支援システムに用意されている様々なコンテンツ活用のための勉強会を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）
a-1 教員相互の授業参観
6件の参観を実施。参観後提出されたレポートおよびFD委員会年次報告書等を通して学びや気づきを共有した。
a-2 新任教員のための研修会
4月前半に実施。法人本部研修会担当者や事務局長、学科長等による説明等を通し、学園や学科の理解の涵養に努めた。
a-3 ICT勉強会
月に1回各種委員会が開催されない週で実施した。1回の参加を少人数とすることでシステムの理解の徹底と参加者の技術向上を目指した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
a-1 教員相互の授業参観
参観後提出されたレポートより、授業展開の工夫、アクティブラーニングの手法、授業内容に適した教員体制等について意見が寄せられた。学科を横断した参観も実現し、授業担当者個人の授業運営能力の向上のみおならず、学科間の理解促進やチームワーク向上のための士気の醸成につながった。
a-2 新任教員のための研修会
建学の精神や学園の理念、キャンパス全体の教学の取り組みや学科教育課程の理解をとおして、本学構成員としての自覚を促した。
a-3 ICT勉強会
本学学修支援システムの理解と活用能力の向上が進み、新たな授業方法構築の意欲に繋がった。今後より多くの参加者を募りICTに関して教員全体のレベルアップを継続的に図っていく必要がある。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
a 実施の有無及び実施時期
毎年学期末に全授業（一部少人数クラスを除く）で実施している。
これらを科目ごとにまとめ、各教員に結果が渡される。その結果を見て、今後どのような改善策を講じるのか、といった「授業アンケートに対する教員アンケート」を大学全体として行っている。
b 教員や学生への公開状況、方法等
本学学修支援システム「Moodle」上にて授業評価アンケートを公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項　　該当なし

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

（委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。）

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例）

・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・本年度は申請書に従い適正に遂行

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年3月　冊子発行

b 公表方法

・冊子発行を関係各所に配布
・冊子刊行後に大学ホームページ上に公開予定（令和2年6月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和5年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和２年度）

a 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫
b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕
c 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫
d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

桜花学園大学　ＦＤ委員会規程

（設　置）

第1条　桜花学園大学学則第３条の規定に基づき、ファカルティ・ディベロップメント（Faculty Development「授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究」をいい、以下「ＦＤ」という。）を実施するため、桜花学園大学ＦＤ委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（所　掌）

第2条　委員会は、次の各号に掲げる事項を取り扱う。

(1)　ＦＤのための基本方針の策定に関する事項

(2)　ＦＤのための研修会等の開催に関する事項

(3)　その他ＦＤに関する事項

（構　成）

第3条　委員会の構成は、次のとおりとする。

(1)　構成は、教務部長、各学科より選出されたそれぞれ１名の委員及び教務課長とする。

(2)　委員長は、委員の互選により選出するものとする。

（会　議）

第4条　委員会の会議は、次のとおりとする。

(1)　会議は、委員長が招集し、その議長となる。

(2)　会議は、委員の３分の２以上の出席により成立する。

(3)　会議の議決は、委員の３分の２以上の賛成による。

(4)　委員長は、委員の半数以上または教授会から会議の開催を求められた場合、会議を開催しなければならない。

(5)　委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員に会議への出席を求めることができる。

（事　務）

第5条　委員会の事務は、学務部が行う。

（制　定）

第6条　委員会は、この規程に定めるものの他、必要に応じて規則を定めることができる。

（改　廃）

第7条　この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附　　則

この規程は、平成２０年４月１日から施行する。

この規程は、平成２１年４月１日から施行する。

この規程は、平成２３年４月１日から施行する。

この規程は、平成３０年４月１日から施行する。

桜花学園大学　保育学部　ＦＤ委員会規程

（準　拠）

第1条　この規程は、桜花学園大学保育学部教授会規程第１１条に基づき、ＦＤ委員会（以下「委員会」という。）に関する必要な事項について定める。

（目　的）

第2条　委員会は、保育学部の教職員の教育研究、職務能力の向上に関する事項について審議し、保育学部のＦＤ活動に関する計画を策定し、教育研究の発展に資することを目的とする。

（構　成）

第3条　委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

(1) 教授会により選出される各学科教員１名

(2) 事務局により選出される職員１名

２　委員長は委員の互選により選出する。

（所掌事項）

第4条　委員会は、次の事項を審議し具体化する。

(1) 授業評価に関する事項

(2) 授業の公開・交流に関する事項

(3) 教職員の研修に関する事項

(4) その他ＦＤ活動に関する事項

（会　議）

第5条　会議は、委員長が招集し議長となる。

２　会議は、委員の３分の２以上の出席により成立する。

３　会議の議決は、出席委員の３分の２以上の賛成による。

４　委員長は、委員の半数以上または教授会から会議の開催を求められた場合、会議を開催しなければならない。

５　委員長は、委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員に会議への出席を求めることができる。

（報　告）

第6条　委員長は、審議の結果を教授会に報告しなければならない。

（事　務）

第7条　委員会の事務は、教務課が行う。

（規程の制定）

第8条　委員会はこの規程に定めるものの他、必要に応じて規程を定めることができる。

（改　廃）

第9条　この規程の改廃は、保育学部教授会の議を経て行う。

附　　則

この規則は平成２１年４月１日から施行する。

この規程は平成２８年４月１日から施行する。

この規程は平成３０年４月１日から施行する。